

恋人の聖地

釜石大観音に 認定銘板授与

釜石

NPO法人
地域活性化支

援センター（静岡市）から「恋人の聖地」に認定された釜石市大平町の釜石大観音に29日、聖地の証しの銘板が授与された。

授与式は市役所で行われ、釜石大観音を運営する同市の石心禅寺の都築利昭住職らが出席。銘板は5月、

東京で市の代表が同センターから受け取っていたもので、野田武則市長が都築住



職に手渡した。

野田市長は「市内外の若者が集うようなロマンチックな場所になってほしい」、都築住職は「多くのカップル誕生のきっかけの場となつてほしい」と願った。

銘板は釜石大観音の1階

ロビー付近に設置し、今後

除幕式も行う予定だ。

「恋人の聖地」は同セン

ターが主催。ファッションデザイナーの桂田美さんらが選考委員を務めている。

釜石大観音は4月、「恋人の聖地」に認定され、県内では石神の丘美術館（岩手町）、めがね橋（遠野市）、

龍泉洞（岩泉町）も選ばれている。

野田武則市長から「恋人の聖地」の銘板を授与された都築利昭住職（右）